日光市立湯西川小中学校　小中一貫教育グランドデザイン

学　校　教　育　目　標

〈基本方針〉
心身ともに健康で、社会の変化に主体的に対応できる力と心をもち、未来を力強く切り拓く児童・生徒を育成する。

〈具体目標：めざす児童・生徒像〉○ やさしく　○ かしこく　○ 元気のある　**いきいき　にこにこ　湯西の子**

育成を目指す資質・能力

1　未来の社会で生きるために必要な知識と技能（確かな学力）

2　未知の状況にも対応できる技能と対応力（豊かな心）

3　健康と身の回りの安全のために行動できる態度（健やかな体）

小中一貫教育　テーマ

小中一貫教育のよさを生かし、主体性を育む教育活動の展開

～深い学びを実感できる授業づくりを中心に～

本校は極小規模の小中併設校であり、個に応じた指導と小中一貫教育を推進させられる強みがある。しかし、各クラス少人数で手厚く保護してしまい、自主性や自立性を育みにくいため、子ども達の主体性を育みにくい弱みがある。
そこで、小中学校が一貫して主体性を培うことで、学校教育目標の具現化を目指す。

児童・生徒の実態

◇学習面
・一生懸命学習や活動に取り組む。
・基礎学力が二極化傾向にある。
・相手の話をしっかり聞き、自分で考えたり表現したりする力が十分でない。
◇生活面
・明るく親切で、人なつこい児童・生徒が多い。
・作業を一生懸命行う。
・場に応じた言葉遣いやあいさつ、が身についてきてはいるが不十分である。

９年間で育むべき資質能力

小学校	低・中学年	知育	・自分の考えをもち、聞き合ったり、話し合ったりすることができる。
		知育	・湯西川の伝統・文化を調べたり、体験したりして、その良さや価値を実感する。
		徳育	・互いの良さに気付き、仲良く協力して活動できる。
		体育	・自分のことができ、基本的生活習慣が定着できる。
		体育	・運動の楽しさを味わい、最後まで協力して運動をする。
	高学年	知育	・自分の考えをもち、聞き合い、話し合いながら考えを深めることができる。
		知育	・湯西川に生きる人の生き方に触れ、ふるさとに生きる良さや価値を追究する。
		徳育	・仲間とのかかわりを深め、互いを信頼し協力して活動できる。
		体育	・生活習慣を見直し、めあてを立てて計画的に過ごすことができる。
		体育	・運動の楽しさを味わい、自己の最善を尽くして運動する。
中学校	中学生	知育	・自ら考え、他者と学び合い、高め合うことができる。
		知育	・日光の自然や伝統、産業などを追究したり、見つめ直したりして、地域社会の一員としてできることを考えたり実践したりする。
		徳育	・自他の良さを認め、かかわりの中で温かい人間関係を築くことができる。
		体育	・自分の健康に関心をもち、生活設計ができる。
		体育	・基礎的な運動の技術や知識を身に付け、それらを活用して自らの運動の問題を解決する。

確かな学力（知育）の育成

知育面における主体性
：学び合い、高め合い

【教育の重点化（教育課程に反映）】
○伝え合い、学び合う言語活動の充実
・表現力の向上の手立て
・ペア・グループ学習等の工夫
・机の配置の工夫、・話し合いの型の提示
・ホワイトボードや付箋紙の活用
○多人数人数の授業作り
・合同授業、全校授業の工夫
○専門性を活かした授業、外部人材の活用
・中学校教員の小学校への出授業
・外部人材の活用

【一貫性をもたせる方法】
・小中両職員による授業研究・学校課題推進
・小中一貫した教育計画の作成

豊かな心（徳育）の育成

徳育面における主体性
：自主・自律

【教育の重点化（教育課程に反映）】
○特別活動の工夫
・儀式における中学生の司会
・行事における全校生の決意表明
○道徳の授業の工夫
・重要価値項目の授業の複数回実施
・授業参観時の道徳の授業公開
・合同道徳、全校道徳の実施
○小中交流・他校との交流の推進
・小中合同の行事の場の内容の充実
・他校との交流学習の推進

【一貫性をもたせる方法】
・小中学校教員の道徳校内授業公開
・小中一貫した教育計画の作成

健やかな体（体育）の育成

体育面における主体性
：自立心

【教育の重点化（教育課程に反映）】
○自立心の育成
・生活習慣シートの実施による児童・生徒の基本的生活習慣の定着
・個別指導の充実
・家庭へのかかわりの充実
○チームワークを育てる授業
・合同体育の授業

【一貫性をもたせる方法】
・養護教諭による小中一貫したかかわり
・小中一貫した教育計画の作成

【一貫性をもたせるための共通理解の方法】
・小中教職員の合同職員会議・小中一貫の校務分掌表・小中両主任の会議・小中一貫した教育計画の作成（毎年、一貫した物を作成していく）
・小中共通の課題の設定と課題解決の共通理解（現職教育）